

## 令和4年度 第1回花巻市介護保険運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和4年9月29日（金） 午後1時～2時15分
2. 開催場所 生涯学園都市会館（まなび学園）2階 第1中ホール
3. 出席者
  - (1) 委員 14名  
菊池清委員、多田悦子委員、狩野隆史委員、佐々木一広委員、内館憲二委員  
小田島克久委員、柳原克浩委員、那須秀逸委員、上川亜矢委員、工藤直人委員  
小木田勇輝委員、狩野敦史委員、影山一男委員、藤井廣志委員
  - (2) 欠席した委員 4名  
橋本純子委員、大原初美委員、高橋弘毅委員、藤本莞爾委員
  - (3) 地域包括支援センター 1名  
花巻中央地域包括支援センター所長 根子裕司氏
  - (4) 花巻市 10名  
健康福祉部長 今井岳彦  
健康福祉部健康づくり課長 長山義博  
健康福祉部長寿福祉課長 佐藤 ひとみ  
健康福祉部長寿福祉課 課長補佐（高齢福祉担当） 久保田 和子  
健康福祉部長寿福祉課 課長補佐（包括支援担当） 小綿 みはる  
健康福祉部長寿福祉課 課長補佐（介護給付・介護認定担当） 佐々木 潔  
健康福祉部長寿福祉課 高齢福祉係長 菊池 隆則  
健康福祉部長寿福祉課 包括支援係長 伊藤 幸恵  
健康福祉部長寿福祉課 介護給付係長 藤原 由紀子  
健康福祉部長寿福祉課 介護認定係長 有戸 裕美子
4. 議題
  - (1) 介護保険の運営状況について
  - (2) 第8期介護保険事業計画評価指標に対する自己評価について
  - (3) 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について
  - (4) 地域密着型サービス事業所の整備状況

## 5. 議事録

### (1) 開会(佐々木課長補佐)

これより令和4年度第1回花巻市介護保険運営協議会を開会いたします。

ここで、委員の2名の改選がありましたので、新委員をご紹介させていただきます。公益社団法人岩手県看護協会 花巻地区支部長 工藤 直人(くどう なおと)様でございます。次に、花巻市区長会 理事 藤井 廣志(ふじい ひろし)様でございます。どうぞよろしく申し上げます。

開会に当たり、健康福祉部長の今井から御挨拶申し上げます。

### (2) あいさつ(今井健康福祉部長)

本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より本市の福祉行政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただいておりますことにつきまして、改めて御礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症ですけれども、7月以降、第7波と呼ばれる感染拡大が全国的に続き、花巻市におきましても、8月21日の1日当たりの感染者数が310人、岩手県全体で2017人と、いずれも過去最高となる感染者数の公表となっております。9月に入りましてから、全国的に感染者数も減少傾向となり、本市におきましても、全国と同じく減少しており、市町村ごとの感染者数の公表が、今現在行われておりませんが、最後の公表となりました9月26日では、花巻市の1日当たりの感染者数は18人となっております。

このような中で、8月から9月にかけて、3年ぶりに花巻まつり、また大迫の行燈まつり、石鳥谷まつり、土沢まつりが行われておりますけれども、この祭りの開催による感染拡大は、見られてないという状況でございます。

感染は減少傾向にありますけれども、本当に高齢者施設や介護の現場におきましては、引き続きこの感染拡大防止に大変な苦勞をされていると思います。市といたしましては、引き続き、随時介護事業所と情報を共有しながら、介護サービスの安定的な提供があるよう努めて参りたいと存じます。

本日の会議では、令和3年度の介護保険運営状況を含めまして、4件について協議を予定してございます。介護保険事業のよりよい運営のため、委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見をお願いし、挨拶とさせていただきます。

### <出席状況の報告>佐々木課長補佐

次に、本日出席しております職員を紹介させていただきます。

はじめに、只今、ご挨拶を申し上げます、健康福祉部長の今井でございます。長寿福祉課長の佐藤でございます。健康づくり課長の長山でございます。

長寿福祉課課長補佐 高齢福祉担当の久保田でございます。長寿福祉課課長補佐 包括支援担当の小綿でございます。高齢福祉係長の菊池でございます。包括支援係長の伊藤でございます。介護給付係長の藤原でございます。介護認定係長の有戸でございます。

つづきまして、花巻地域包括支援センター根子所長でございます。

協議に入る前に、本日の会議の出席状況を報告いたします。

本日の会議につきましては、委員18名中過半数以上の14名の出席をいただいておりますので、花巻市介護保険運営協議会規則第5条第2項の規定により会議が成立することを報告させていただきます。また、本会議は花巻市審議会の会議の公開に関する指針により公開する会議となります。会議の傍聴を希望する方がある場合は、これを認めること、また会議資料及び会議録を市のホームページで公開いたしますことを申し添えます。

それでは協議に移らせていただきます。

会議の議長は、規則第4条第2項の規定により会長となっておりますので、影山会長よろしく願いいたします。

### (3) 議題

(影山会長)

委員の皆様お忙しい中本日の会議にご出席いただき、改めて御礼申し上げたいと思います。本日は私が議事進行を務めるということですので、よろしく願いいたしたいと思います。それでは座って議事進行をさせていただきます。本日の議事、協議事項は四つありますので、次第に沿いまして、進めて参りたいと思います。はじめに、第1の協議事項、介護保険の運営状況について事務局より説明をお願いいたします。

(佐藤課長)

介護保険の運営状況について資料1に沿い、佐藤長寿福祉課長より説明。

(影山会長)

はい、ありがとうございました。

ただいまの事務局の説明について委員の方からご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。如何でしょうか。

(影山会長)

私の方から一つ、4ページの2、介護サービスの給付状況（1）介護度別認定者数及びサービス受給者数、これが要介護2と要介護3が、100%を超えているのはどうということなのか伺いたい。

（佐藤課長）

資料の2ページをご覧ください。居宅サービスというところにカウントした人は、どのサービスを利用した方々かということ、※印1のところに書いています。同様に、地域密着サービスは、どのサービスを利用した方をカウントしているかということが※印2のところに書いています。地域密着サービスの認知症対応型通所介護と、地域密着型通所介護を利用した方については、当然、サービスを利用するためのケアプランも作成していることとなります。そうすると、※印1の居宅サービスのところの一番下にある居宅介護支援というところと、重複してカウントされるという状況がありますので、100%超えるところが出てくるということとなります。あとは、例えば月の途中で、施設の方に入所したとか、そういう方も、100%を超えてしまうという、要因になっているかと思えます。

（影山会長）

はい。資料2の2ページ、5,195人というのは合計数ですよね。4ページの私が質問したのも合計は5,195人になっており、合計数が同じになっているので、二重にカウントされているというのがちょっと理解できない。

（佐藤課長）

例えば地域密着サービスのうち、地域密着型通所介護を利用された方は、地域密着型のところにも1とカウントされますし、当然、地域密着通所介護のサービスを位置づけるケアプランも作成されておりますので、自動的に居宅サービスの方の居宅介護支援というものを利用している形になりますので、居宅介護のところでも1というふうにカウントされてしまい、重複が生じているということになります。

（影山会長）

後で確認します。他に委員の方、ご質問ありますか。他になれば時間もありませんので、今回は9ページから12ページに関して、これまでは、省いていた資料と、今回から新しく付け加えたということですので、この辺の資料等も、初めて見るところもあるかと思いますが、後でご確認をいただきたいと思えます。

続きまして、協議事項の2番目第8期介護保険事業計画評価指標に対する自己評価について、事務局よりご説明をお願いいたします。

(佐藤課長)

第8期介護保険事業計画評価指標に対する自己評価について資料2に沿い、説明。

(影山会長)

ありがとうございます。ただいまの事務局の説明について、ご意見、当委員の方ございましたらよろしく願いいたします。

(柳原委員)

ケアプラン点検の項目二つ目のところで、実績35%達成のところについてお聞きしたいことがあります。業務委託を令和3年度からするようになって、一度ケアプランを業務委託業者に出した後にそれを、こういうふうに改善してくださいといった結果を受けて改善したものをさらに提出する。といった流れだったと思うのですが、改善率、そういったところに着目すると、こうしてくださいと言われたものを、再度送ったにもかかわらずそれが改善されてなかったのが、65%あったという解釈でよろしかったでしょうか。

(佐藤課長)

こちらの改善率ですが、例えばこちらに記載している情報収集、分析、ケアプラン作成、サービス担当者会議、モニタリングマネジメントの項目がありますが、それぞれの項目ごとに、このところ、いかがでしょうかというような助言があったことに対して、そこが確かに不十分でしたとか、そこを改善しましたということ、ケアマネージャーからのコメントがあったものを、改善というふうに評価しており、改善率が35%だったという形になっています。

点検後に提出していただく資料だけでは、指摘の内容が全部改善されたかについて確認できない状態でしたので、委託業者からのコメントに対して、ケアマネージャーさんがどれだけ気づきを得られたかというところを改善率として見た形になっています。

(柳原委員)

客観的な評価基準は特にない感じですか。

(佐藤課長)

ケアマネージャーから点検が終わった後に、こんなところに気づきましたといったアンケートを書いてもらい、そのアンケートに、助言があった分野についてのコメントがあったかどうかというところで見えております。

(柳原委員)

わかりました。その下の推奨マニュアルのところですが、私も確認させてもらい、とても分かりやすく、いつも辞書代わりに使っています。令和3年度に実施した内容を踏まえて、このマニュアルを作ったというとらえ方でよろしかったでしょうか。

(佐藤課長)

そうです。

(柳原委員)

そうすると、例えば今年令和4年度は改善される見込みが、もしかしたら高いかなというような感覚は。

(佐藤課長)

そうですね。だんだんに、こうなっていけばいいなというふうに思っております。

(柳原委員)

わかりました。ありがとうございます。

(菊池委員)

コロナの中で、こんなに事業、本当にお疲れ様でございます。

7ページのことで質問をさせていただきます。

以前にもお話したことがあるかと思いますが、地域ケア推進会議の市全域会議が、コロナということではなく、確か2018年からも行われていないということ、会議のサイクルを見ると、市全体の地域ケア推進会議、市全体の方でいくと、市全体の課題や問題点を解決する施策や新たな取り組みを、他機関で検討するっていうのがあります。これが、ずっと地域ケア会議とか、それからネットワークは行っているようですが、その上のうち、全体の地域ケア推進会議が数年行われていない。それで、なぜかという地域課題の抽出等ができかねたということになると、ちょっと問題と思う。問題が、結局、絞れないということになると、いろんなプランとかもできないことになってしまわないかということで、なぜできないのかが一つと、それからオンラインで今いろいろ行っている中で、必ず全員が会ってやらなければならない会議なのかというのと、それから、どういう構成になっているのか。4年間やってないことから委員、市の職員とも違ってくるかもしれませんが、すぐまず第一に必要性とそれからその会議の持ってきた方とオンライン

ではできないのかということ。抽出出来ないことで逆に問題はないのかということをお聞きしたいと思います。

(久保田補佐)

質問いただいた推進会議については、全く今ご指摘いただいた通り今まで一度も開催できておりません。圏域ごとに地域包括支援センターを設置し、圏域ごとに解決できない課題が市全体で検討すべき課題と捉えていますが、その圏域ごとの課題がまず整理しきれてなかったという事が一つで、課題抽出の面からするとそこが問題だと思っています。開催形態については、オンラインという開催の形もありますが、まずは会議を開催したことがないので、限定的な言い方はできませんが、そこについてある程度理解いただいている方に、こちらの推進会議については参加いただきたいと思っております。例えば本日の運営協議会の方で、理解を示している皆様とかに、検討いただければと思っておりますので、一般の方や様々な分野の方がいますので、オンラインでの開催はちょっと難しいのではというふうには考えているところです。

(菊池委員)

ということは、地域ケア推進会議の委員は全く決まってないという状態ということなんですか。

(久保田補佐)

はい。想定はこの運営協議会のメンバーがベースになると想定しております。

(菊池委員)

すみませんが、資料を2日前に頂き、ちょっと全部読めておらず、理解してないところもあり失礼なこともあるかもしれませんが、やっぱり地域課題を抽出ができないという事をここに出してしまったという事は、ちょっとエッと思いましたので、もし出来るのであれば、年に一回、今いろんな会議もやり始めているところですので、何か出来ないものかというふうに思います。今後のいろんなプランとかに支障が今のところは出てないと思いますが、せっかくこういうサイクルを決めているのであれば、その機能をちゃんと果たして、いろんなプランとかみんなの目に触れるようなにした方がいいというふうに思いました。

(久保田補佐)

ご意見ありがとうございます。全くその通りだと思います。今年度から成年後見の方の利用促進の取り組みも開始しましたが、認知症高齢者の方とか、いろい

ろ判断能力がなくて困りごとが起きている方とかは、市全体の課題というふうにも思いますので、市としてもまず、地域の課題、市の課題で検討すべきものを再考し、推進会議の開催に繋げていきたいと考えています。

(今井部長)

すみません。補足させていただきます。

先ほどの委員のご指摘、ごもつともであり、推進会議は市が主催する会議となっています。それで、間違っていれば訂正頂きたいのですが、地域支援個別会議と地域ネットワーク会議は、各圏域の包括支援センターが主催主体の会議となっております。今の考え方は、私の認識であれば、各包括支援センターに挙げた課題を、市で集約し、それを課題と捉えるという認識でした。実はこれはこの会議自体は市が主催の会議ですので、課題抽出については、やはり市の方も、積極的に働きかけるとか。例えば、共通課題を見つけて開催してくとか。今までは、下から積み上がってくるものを、課題ととらえるというような仕組みだったように私は感じていますが、やはり市が主体ということであれば、やはりそこ包括支援センターと連携して、話し合いながら、市として課題を抽出していくことが必要になってくると思います。目標に掲げていることから実施したいと思っています。

(影山会長)

他にご質問。如何でしょうか。

今の点に関して6ページの評価ですね。6ページはそれぞれ地域ケアの個別会議とか、それからネットワーク会議、これらの方は、きちんと出来ているようですので、一番最後の先ほど言われた市のレベルで考える。これもやはり、今後の課題としてあるということですが一番下のレベルから、きちんとできていますので、最後の一番上のところは、きっちりできるように、今後進めていただければと思います。

他にご質問等如何でしょうか。無ければ、3番目の協議事項に、進ませていただきます。3番目、保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について、事務局より説明をお願いします。

(佐藤課長)

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について資料の3によりレーダーチャート数値の低い（得点率が低い分野）Ⅱの（2）包括支援センターとⅢの（1）介護給付の適正化等について、資料別冊「令和4年度保険者機能強化推進交付金、介護保険保険者努力支援交付金に関する評価指標（市町村分）」に

より市の状況等について説明。

(影山会長)

ありがとうございました。しかも詳細な説明ありがとうございます。委員の方からご質問如何でしょうか。はい。どうぞ。

(狩野委員)

データが細いので、せめて1週間前に配布していただければ、良く読める。お願いします。

(佐藤課長)

申し訳ございませんでした。

(影山会長)

他にございませんでしょうか。はい。どうぞ。

(内館委員)

先ほどの推進会議で0点だったところと関係するのが、これで8ページの⑤のイウエのところが出来ればそこに該当するという考え方でよろしいのでしょうか。

(佐藤課長)

はい、そうです。

(内館委員)

次に、今年度は、既に実施予定はあるのでしょうか。それともまだなのでしょうか。

(佐藤課長)

推進会議について、何とか今年度中には実施したいと考えております。

(影山会長)

他に、ご意見如何でしょうか。先ほど委員さんからも要望がありましたが、評価指標の非常に細かい方の資料ですね、やはり我々委員の方には、なるべく時間に余裕を持って配布していただければということをお願いしたいと思います。また、この評価の点数とも関わりますが、地域ケア推進会議、市全域の会議ですね、これも一回、できれば会議できるように進めていって欲しいと思います。

他にご意見、如何でしょうか。無ければ、4番目の協議事項の方に、進ませていただきます。4番目は地域密着型サービス事業所の整備状況について、事務局より報告をお願いします。

(佐藤課長)

地域密着型サービス事業所の整備状況について資料4により報告。

(影山会長)

ご報告ありがとうございました。この件については報告だけということですが、それでは、あらかじめ用意された協議事項についてはすべて協議が終わりました。委員の皆さん方から、これは言い足りなかったとか、これは言っておきたいということがありましたら。どうぞ。

(内館委員)

介護保険事業所としてちょっとお話させていただきたいのですが、確かにコロナは大変な影響があり、売り上げの減少だったりしているのですが、それ以上にちょっと悩ませているのが、また来月から、物価が上がるわけですが、いろんな経費が上がっています。今回、県内の高齢者福祉施設の協議会としては、県の方に、支援の申し入れをして恐らく12月の補正予算の方にかけてくださるという話だったのですが、その後をお願いした後に国の方として、6,000億でしたか。県と市にそれぞれ半々ぐらいずつなんですか。また、物価に対応するための、交付金を支給することになったということで、是非、市独自としても、何しろの介護保険事業は公定価格で行っていますので、努力しようと思っても売上を上げることはできずに、内部で節約するくらいしか対応の仕方がありません。是非とも、市としても、ご考慮いただければと思います。

(今井部長)

内館委員さんのお話についてですが、国の方から、物価高騰対策ということで、地方創生臨時交付金が6,000億円、都道府県及び市町村に配分になり、そのうち花巻市は約3億円の交付が示されております。5月に約3億8,900万円の配分があったことから、今年度につきましては、令和3年度の12億円の約半分の配分になっております。

施設や全国の関係団体からも物価高騰対策について要望を受けておりますし、実際に実態として市でも光熱費について確認をさせていただき、確かにやはり大体3割ぐらいは、昨年と比べ上がっているという状況もおさえております。

交付金の使い道はたくさんあり、今優先的にということはちょっと申し上げら

れませんが、厚労省からも通知が出ており、上がっている実態もわかっていることから、市の全体の予算の中で検討してまいります。

(影山会長)

ほかになければちょうど時間、になりましたので、私の方の議事進行はこれで終了させていただきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

(佐々木課長補佐)

影山会長本当にありがとうございました。

それではこれもちましては4年度第1回花巻市介護保険運営協議会を閉会させていただきます。次回、第2回につきましては令和5年3月下旬を予定しておりますので、日程が決まり次第ご案内させていただきます。

委員の皆様、先ほどご意見いただきましたけども、資料はきるだけ早くご提供するよう心がけていきたいと思います。

本日はありがとうございました。